

アーバンフェンス施工説明書

商品・施工に関するお問合せ

TEL 0776-38-2533

FAX 0776-38-3085

樹脂フェンス製造メーカー

EXTILE

株式会社エクスタイル

【施工上の注意事項】

アーバンフェンスは目隠しフェンス用の部材です。強度が必要な防護柵や高所の手すり等には使用できません。

製品を危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。

アルミ材や製品の切り口には、バリが残る場合があります。手などに怪我をする可能性がありますので取扱いには注意して下さい。

施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分別してから適切な処理をしてください。

風当たりの強い場所、積雪の多い場所や、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。

風当たりの強い場所や施工フェンスの高さがある場合、アルミ柱上部での揺れ止め胴縁のご使用をお勧めします。(詳しくは営業担当者にご確認下さい)

アーバンフェンスは素材の特性上、温度差による伸縮があります。伸縮による板の反りや脱落を防ぐため、製品の組み立て・施工は必ず施工説明書に従って行ってください。

【ご使用上の注意事項】

本製品にぶらさがったり、のぼったりしないでください。

重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。

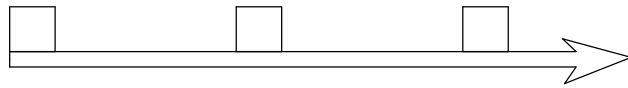
汚れを落とす際には、製品表面に傷つかないように柔らかい布か、スポンジで水洗いして下さい。

汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用して下さい。

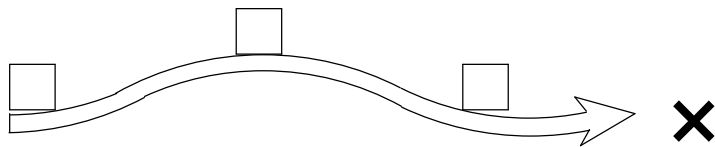
製品の近くで火気を使用しないでください。

[施工のアドバイス]

柱施工の注意



板の張る面を揃えて下さい。



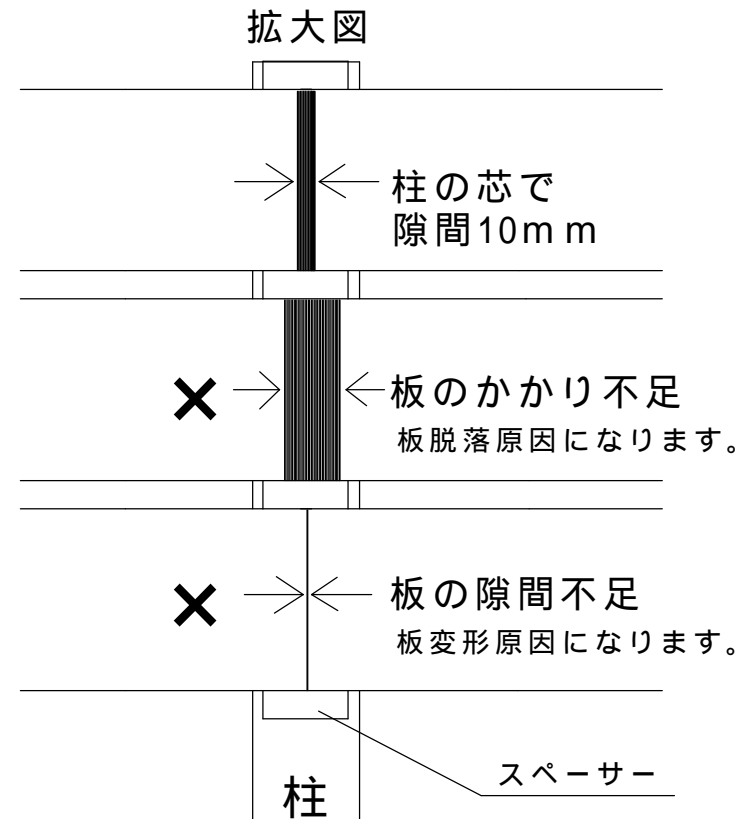
柱の面がふぞろい



柱ねじれ

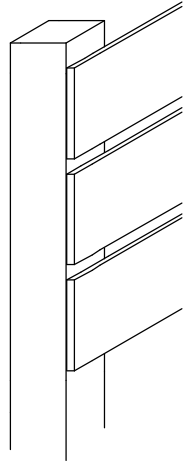
ジョイント部の注意

板の「隙間」と「かかり」に注意して下さい。
板が長い場合は、切り詰めして下さい。

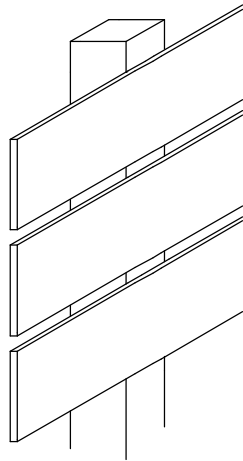


端部の納まり

[柱外面合わせ]



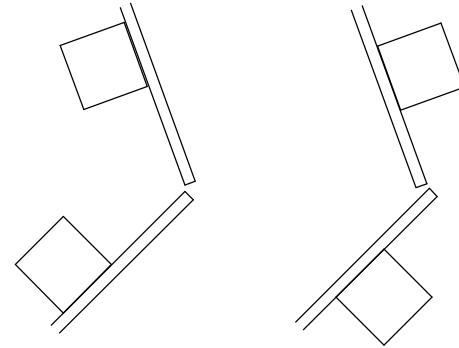
[跳ね出し納まり]



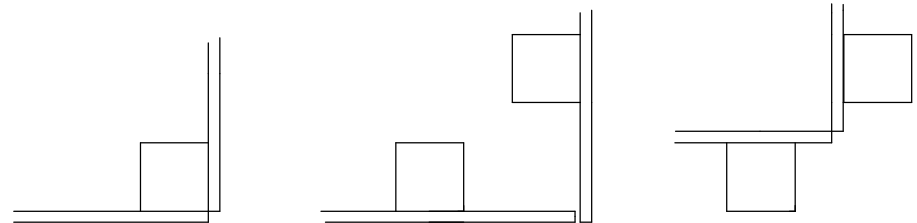
板の跳ね出しは、200mm程度までにして下さい。

コーナー部の納まり

[鈍角の場合]



[直角の場合]



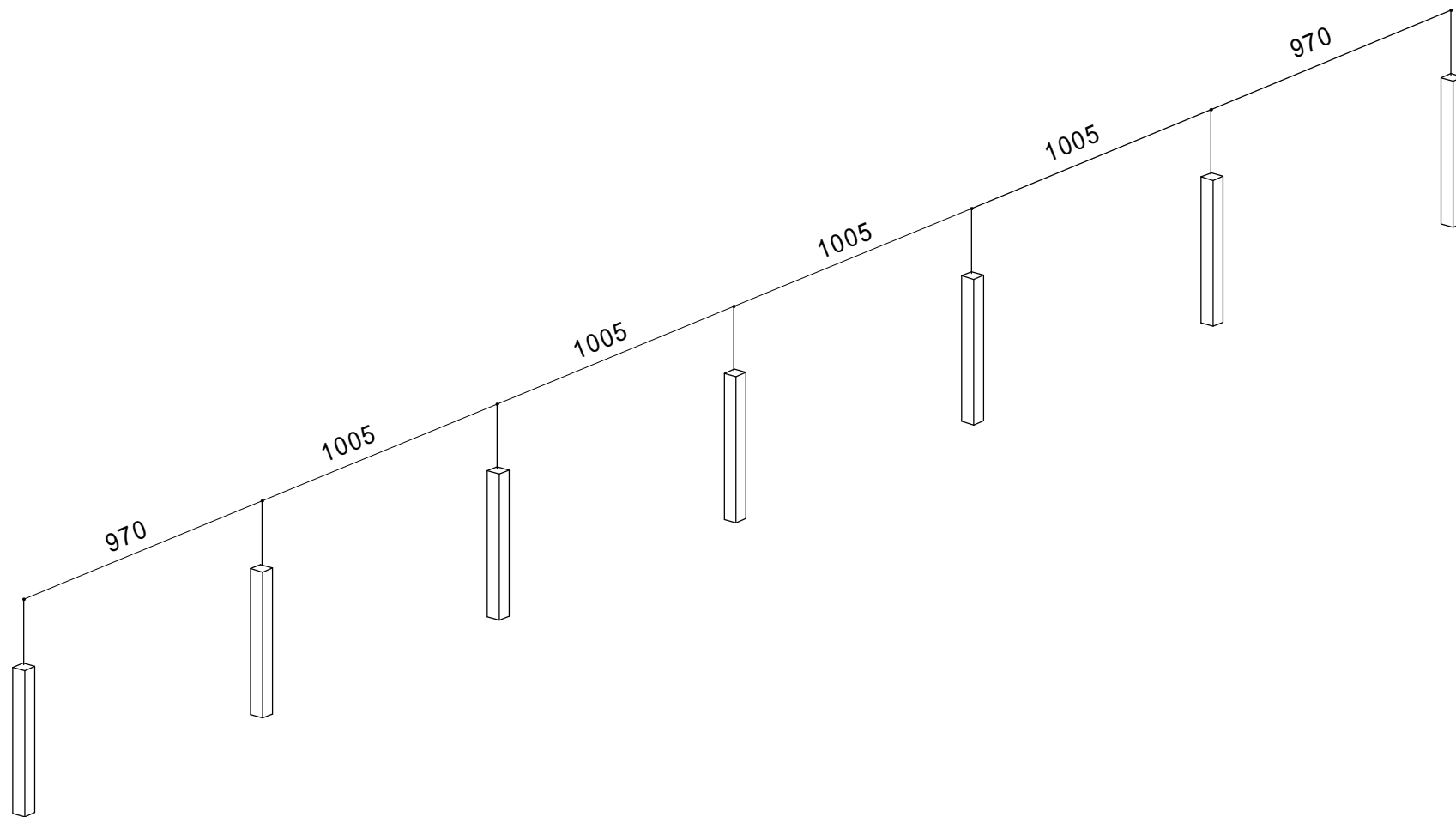
板は温度上昇で伸縮します。
つきあわせの場合隙間を5mm程度あけて下さい

アルミ柱を立てる

アルミ柱を立込みます。

図は60x60柱を使い、アーバンフェンス L=2000の板を3枚横に並べる施工です。

ブロック上など、柱芯々1000mmで施工する場合は、現場にて板の長さを L=1990に切り詰めて下さい。

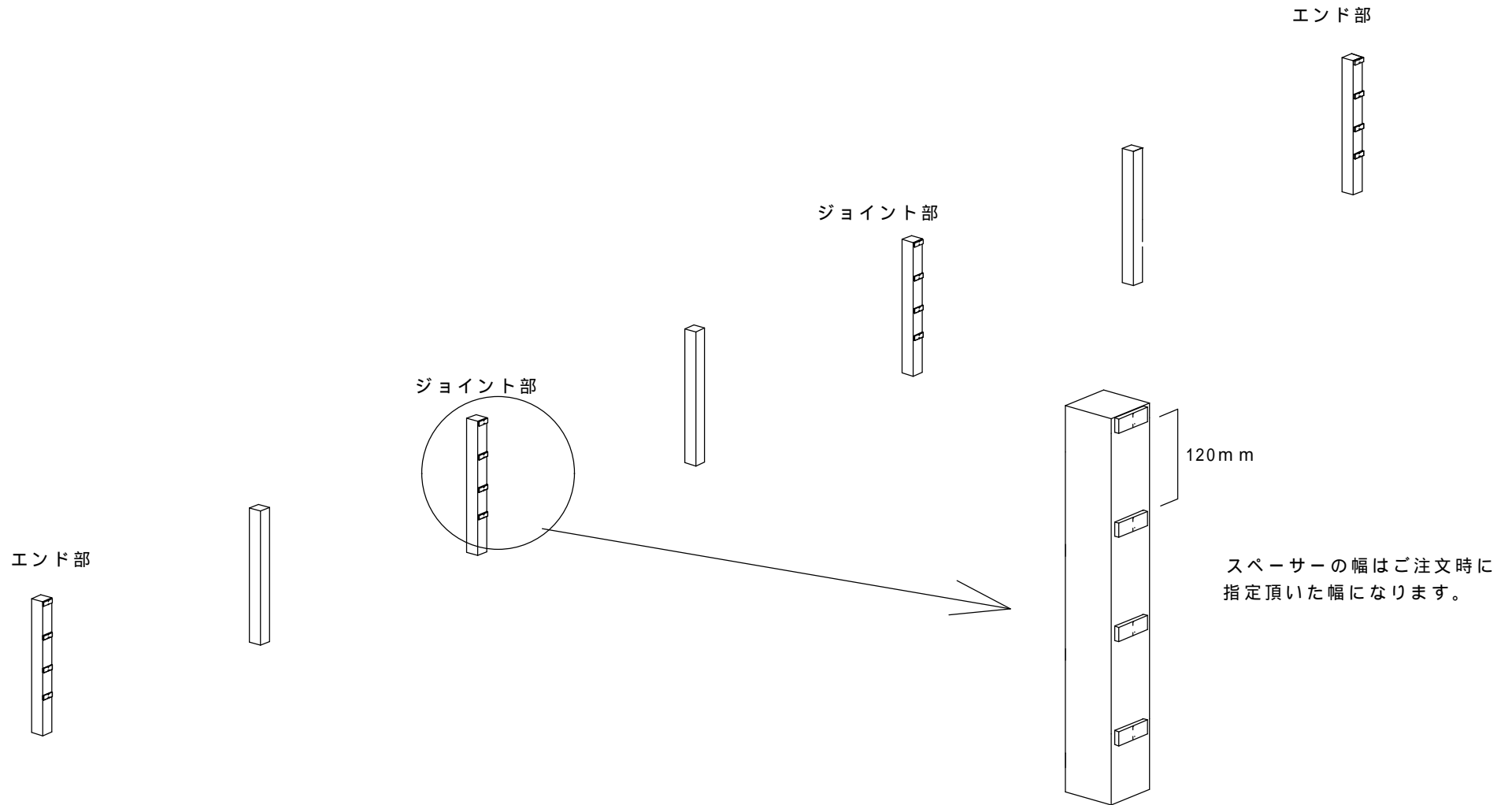


スペーサーを貼る

アルミ柱にスペーサーを貼ります。スペーサーは接着テープ面をアルミ柱に貼り付けてください。

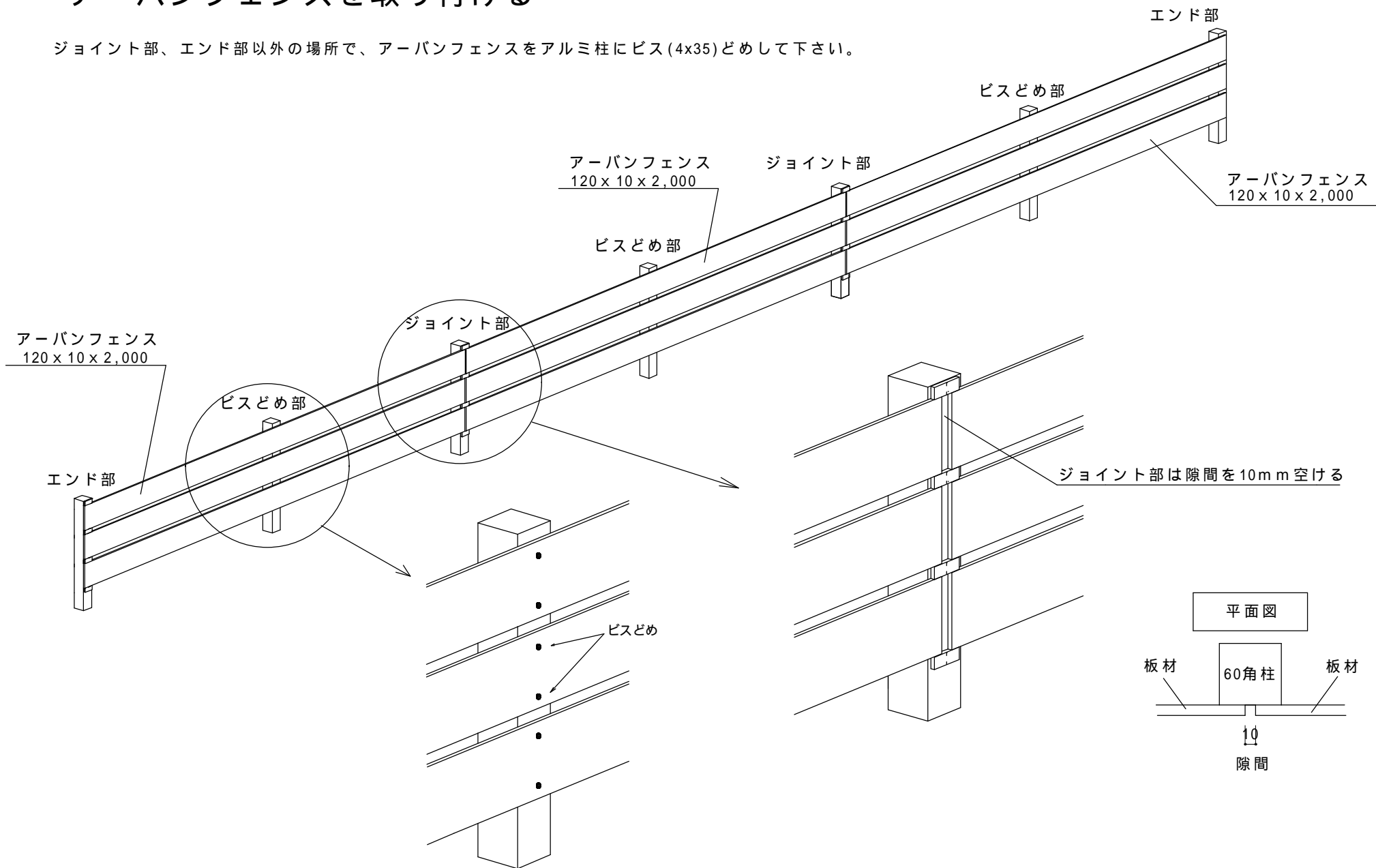
柱の最上部から、板の幅分(120mm)あけながらスペーサーを貼って下さい。

スペーサーを貼る柱は、板のジョイント部とエンド部のみです。



アーバンフェンスを取り付ける

ジョイント部、エンド部以外の場所で、アーバンフェンスをアルミ柱にビス(4x35)どめして下さい。



注：全長が5mや7mの場合、最後の柱がビス止め部になります。

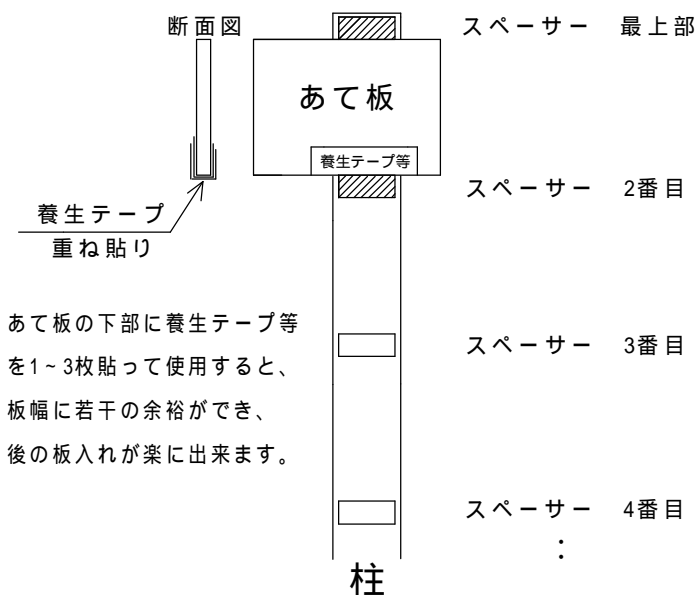
(上記施工図は 全長が約6mの場合です)

施工アドバイス

ビスどめは、3.2~3.3mmのキリで下穴をあけてからお願いします。
必要以上に強くビスを打たないようにして下さい。

スペーサーの貼り方

あて板（アーバンフェンス半端材）を使うと簡単に貼れます。
実際に入れる2mの板で横にスライドするか必ず確認下さい。



あて板の下部に養生テープ等を1~3枚貼って使用すると、板幅に若干の余裕ができ、後の板入れが楽に出来ます。

板の位置合わせ方

